

つなぐ

Vol.34

2020.7月



2019年、新たなバルーンカテーテル「ハートライト」を導入した。

これまで当院では、不整脈を引き起こす異常な電気信号の発生場所を正確に特定するための3Dマッピングシステムを全種類揃え、そして安全かつ効率的に異常な電気信号を遮断させるためのクライオバルーンカテーテルも2015年に導入し、これまで484例の不整脈治療を行っている。

バルーンテクノロジーを採用したカテーテルはさらなる進化を遂げ、心臓内部を目視しながら治療を行うことができるのが、今回導入した「ハートライト」だ。

カテーテル内部に備えられた内視鏡を使

い直視下でバルーンカテーテルを肺静脈入口部に密着させ、カテーテルの中心部から円周上に心筋組織にレーザーを照射し治療する。内視鏡画像により心腔内を確認しながら正確に焼灼することが出来るため、肺静脈隔離術の有効性を高めることができる。また、焼灼部位毎にエネルギー量の調整が可能であることから、食道損傷や肺静脈狭窄などの合併症のリスクの低減が期待され、手技の安全性が確保されている。

2019年、当院のアブレーション治療は年間1,200症例を超えた。常に進化していく医療技術を導入し、様々な病状に適切である治療方法を拡充することは、患者さん一人ひとりの命をつなぐと信じている。

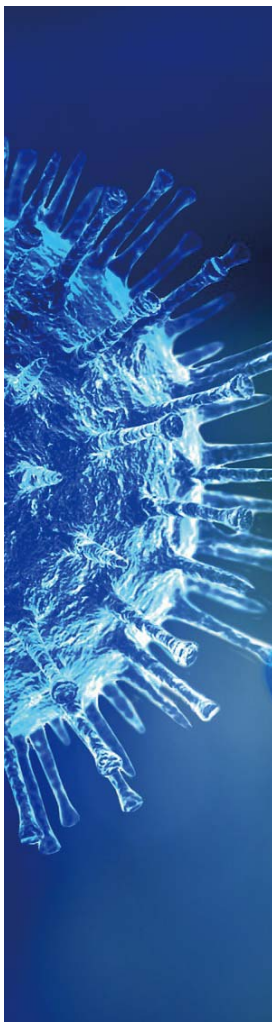


第43回

小倉循環器内科セミナー

2020年 8月6日(木) 18:00~18:30

座 長／小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児



01 【講演】

「コロナ禍におけるカテ室の運用」

講 師／小倉記念病院 循環器内科部長 道明武範



02 【講演】

「新型コロナウイルス 感染対策下における循環器診療 心エコー図検査の運用」

講 師／小倉記念病院 循環器内科部長 磯谷彰宏

参加方法



ZOOMによる web参加のみとなります!

zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

